

専攻 10 周年記念シンポ：フロアーからの質問・意見

7 類 木質材料学研究室 学部 4 年

- ・横のつながりという点では、研究室同士の関係が薄く、それぞれ寄せ集めという感が否めないで、理念の実現の為には何かもう少し交流の機会を増やした方が良いのではないかと思います。

農学国際専攻 修士 1 年

- ・修士課程の 2 年間は短すぎるのではないかと。人間力（コミュニケーション能力など）、専門外の知識、専門の知識、就職活動…と必要なことが多すぎる気がする。一芸は多芸に通じるといわれているが…

国際開発農学専修 学部 2 年

- ・産業界の求める人材の質が変化した、というお話がとても印象に残りました。僕自身、理論どころよりも、現場の実状に即した学問を学びたいと考えていたので、自分の志向する道が時代と逆行してはいないと感じました。実体験の不足、コミュニケーション能力の欠如というお話がありましたが、これは僕自身強く感じていることで、日々自身の課題として取り組んでいるところです。

国際開発農学専修 学部 2 年

- ・様々な問題を設定したり、解決したりするのに幅のある知識が必要であることが良く分かりました。そのためには大学教育において、とても厚く感じられる文系と理系の壁を壊す必要があるように思います。大学受験に向けて高校、あるいは中学から存在するこの壁が、幅のある知識を持つ人材を生み出す障害になると思うのですが、どうでしょう。

農学国際専攻 博士 1 年

- ・現在博士課程一年です。山野井先生におうかがいします。博士卒では、企業就職は難しいのかと改めて感じましたが、何か博士課程の学生へ企業就職の際のアドバイスや、就活のために心がけること等ありましたら、是非教えていただけたらと思います。

農学国際専攻 博士 1 年

- ・農学国際で真理を追究する意義をどのようにお考えでしょうか。

農学国際専攻 修士2年

- ・農学国際のプログラムとして、研究室交流をできないだろうか。たとえば、研究室発表会をするというような（修論報告会等を別にして）。

国際開発農学専修 学部4年

- ・欧米（キリスト教文化圏）の会社をライバルとした時、日本の会社のあり方について、もっと詳しく訊きたいです。
問題解決型＝科学者、問題発見型＝技術者、の理解でいいでしょうか。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

- ・Input と Output のバランス：社会にでると評価は Output で
アカデミックとそれ以外のバランス：アカデミックのみで生活してゆく方はごく一部。
足りない部分はできる人を呼ぶ？

国際開発農学専修 学部4年

- ・抽象的な教育骨子を考えるレベルには至っていないのですが、効率ばかりでなく、とことん考えて複雑な問題や状況に当たった時に壊れずに問題解決に自ら当たっていくストイックさを身につけさせる教育の必要性を感じました。林先生の熱い想いに魅かれました。

- ・JIRCAS（国際農林水産業研究センター）

- ・山野井氏へ： 農学は柘植氏（総合科学技術会議）が言われるΣ型（総合組立型？）の人間がもっと必要だと思います。また、企業でも、プロジェクト等で必要なタイプだと思います。こうした人材を育てるコツ又はキッカケはどのようなものでしょうか。

北中氏へ： 都市部への人口移動の結果として「だれが都市を養うか」の問題が。農業生産の担い手は消えつつあるのではないのでしょうか。また、年齢構成の変化による農業生産力低下の予想もあります。これらを考慮した JICA プロジェクトの例はありますか？

黒倉氏へ： 農学国際の各分野が連携する研究活動があつて然るべきと考えます。例はありますか？無いとすると、農学国際の各先生方はジレンマに陥っているのでは？

農学国際専攻 教員

- ・AIT 池島先生に： ネイティブでない人との英語の会話で、徐々に慣れていったことが良かったとおっしゃっていたが、その辺りも踏まえて、農学国際専攻における英語教育について、提言があればお願いします。他の方でも結構です。

国際開発農学専修 学部4年

- ・「農学国際」の求める人材はどんな人たちですか。誰でもいいの？（何故、大学院受験者が全員受かるのか。）

9 類（学部時代）は、自分が 9 類である意味を感じることが出来ていましたが、結局研究室に入ったらその「横割り」的なものは何の意味があるのですか。

「国際」を名乗るのに何故英語をやらないのか。

国際開発農学専修 学部 2 年

- ・産業だけでなく、現在勢いの増している NGO などとの連携は、これから行われるのでしょうか。農民レベルで物事を視るにおいて、必要なことだと思うのですが。